

50代からの悩み

もしもし、

ビューティウェルネス相談室



今月のお悩み



あごのもたつき、首の横ジワが  
年々深くなり、老けて見え、気になります

シワやたるみ専用の製剤が進歩。  
注入技術とレーザーで治療可能に

メスや糸に頼らずとも  
注入治療でリフトアップ

あごのもたつきや首の横ジワは、エイジングが複合的に起こった結果だと中野あおい先生。

「表面の皮膚がたるむ、皮下に脂肪がつくだけでなく、真皮やさらにその奥の筋肉や骨が衰えることで、あごのもたつきや首の横ジワは起こるのです」。美容医療は五年前とは比べものにならないほど製剤、治療技術が進歩し、たるみのさまざまな要因に的確にアプローチできるようになったといえます。

「あごのもたつきには、最新の施術、



今月の専門家  
あおいクリニック銀座 院長  
中野あおい先生

東京都中央区銀座5-5-13  
坂口ビル5階  
☎03(3569)0686  
<http://aoi-clinic.com/>

金沢医科大学卒業後、同大病院にて内分泌内科、循環器内科を専攻・研究後、美容クリニックの院長などを歴任。2003年東京・銀座に「あおいクリニック銀座」を開院。



治療前



治療後



もともと妊娠線とセルライト用の製剤を組み合わせた医師パーティ氏によるメソッド「フレンチメソシェイプ」。2回受けただけでフェイスラインがすっきり。

「フレンチメソシェイプ」がおすす

です。フランス人の著名な医師であるパーティ氏が開発したメソッドで表皮と真皮にハリを出す画期的な製剤に、脂肪溶解の製剤を組み合わせたものを使用。もたつきが気になる部分に、直接注入します。もたつきの程度にもよりますが、一、二回で目に見える小顔効果が期待できるそう。

「首の横ジワには、スワンネック・ボトックス」を。フェイスラインから首にかけて広頸筋という筋肉が広がっています。この筋肉が強すぎると輪郭や口角を下げ、首が筋張ってしまします。ボトックスで広頸筋の緊張をゆるめることで、首の横ジワが消え、フェイスラインもすっきりします。このように、一般的によく知られたボトックスやヒアルロン酸注入も、打ち方、使う製剤の選び方が進化して、より悩みに応えられるようになりました。

成熟世代に起こる  
あごの骨の萎縮を補強

「ヒアルロン酸注入というところからまし粉」のようなイメージがありますが、今は骨格や筋肉、脂肪を立体的に立て直す施術にパージョンアップしています。当クリニックでは、硬さの違う八種類のヒアルロン酸を組み合わせて、萎縮して痩せたあごの骨と筋肉を補強。フェイスラインの

ゆるみを立体的に再構築します。」

人気の超音波トリートメント、ウルセラも、最近話題のPRX-Tピーリングと組み合わせることであごのもたつきへの相乗効果を図ります。「顔筋の筋膜と脂肪を引き締めるウルセラはコラーゲン産生を強力に促すPRX-Tピーリングと組み合わせ

これまで難しかったあごまわりのたるみへ最新治療でアプローチ

肌表面を穏やかに剝離し、自己修復力を促してたるみを改善するPRX-Tピーリング。これに筋膜を引き締めてリフトアップするウルセラを組み合わせ、輪郭をシャープに。「PRX-Tピーリング+ウルセラ コンバインドトリートメント」全顔1回 36万円。

首の横ジワだけでなく、表情を変えたときに現れる縦ジワや筋っぼさも改善する「スワンネック・ボトックス」。輪郭とデコルテまですっきり。1回 18万円。

日本では現在、あおいクリニック銀座でしか取り扱いのない、フランス人医師開発の製剤を使う注入療法「フレンチメソシェイプ」。1回 4万8000円(初回トライアル4万円)。



ると、より高いリフトアップ効果が望め、肌のツヤとハリも出て、ぐっと若返るのです。」  
これらの施術は、ダウンタイムがほとんどないのもメリット。なかなか解決できなかったあごのもたつき、首の横ジワも、思い立ったときに効果的なケアができるようになりました。